

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公開番号】特開2011-188853(P2011-188853A)

【公開日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2011-039

【出願番号】特願2011-32501(P2011-32501)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 0 7 K	14/82	(2006.01)
C 0 7 K	16/32	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
C 1 2 Q	1/06	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 Q	1/68	A
C 0 7 K	14/82	
C 0 7 K	16/32	
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/574	A
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
C 1 2 Q	1/06	

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月17日(2014.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体から分離した被検試料中のOATP1B3(Organic Anion Transporting Polypeptide 1B3)mRNAの選択的スプライシングバリエントの測定方法であって、

前記被検試料中の、配列番号：1で表される塩基配列を含むmRNAを、配列番号：2で表される塩基配列を含むmRNAと識別して測定することを含む、測定方法。

【請求項2】

配列番号：1で表される塩基配列におけるエキソンSVの存在を指標として、配列番号：1で表される塩基配列を含むmRNAを測定する、請求項1に記載の測定方法。

【請求項3】

前記エキソンＳＶを含む領域に設定したプライマーを一方のプライマーとして用いる核酸増幅法により、配列表の配列番号：1で表される塩基配列を含むmRNAまたはそのcDNAの部分領域を特異的に増幅し、増幅産物を測定することを含む、請求項2に記載の測定方法。

【請求項4】

前記プライマーの塩基数が15～35である、請求項3に記載の測定方法。

【請求項5】

前記核酸増幅法がRT-PCR法である、請求項3または4に記載の測定方法。

【請求項6】

以下の条件を満足する核酸：

(1) 配列番号：1で表される塩基配列を含む核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする；

(2) 配列番号：2で表される塩基配列を含む核酸が共存する場合に、ストリンジエントな条件下で、当該核酸とハイブリダイズしないか、または、当該核酸とハイブリダイズした場合であってもその3'末端がミスマッチとなる。

【請求項7】

配列番号：1で表される塩基配列におけるエキソンＳＶを含む領域とハイブリダイズする、請求項6に記載の核酸。

【請求項8】

塩基数が15～35である、請求項6または7に記載の核酸。

【請求項9】

請求項1～5のいずれか1項に記載の測定方法により、生体から分離した被検試料中のOATP1B3 mRNAの選択的スプライシングバリアントを測定することを含む、がんの検出方法。

【請求項10】

配列番号：1で表される塩基配列を含むOATP1B3 mRNAの選択的スプライシングバリアントを測定する、請求項9に記載の検出方法。

【請求項11】

前記がんが大腸がんまたは膵臓がんである、請求項9または10に記載の検出方法。

【請求項12】

請求項1～5のいずれか1項に記載の測定方法により、がん細胞を被検物質の存在下で培養して得られる培養細胞中のOATP1B3 mRNAの選択的スプライシングバリアントを測定する工程と、

得られた測定結果を、前記被検物質の非存在下における場合と比較および／または評価する工程と、

を含む、がんの予防および／または治療剤のスクリーニング方法。

【請求項13】

配列番号：1で表される塩基配列を含む、OATP1B3 (Organic Anion Transporting Polypeptide 1B3) mRNAの選択的スプライシングバリアント。

【請求項14】

(1) 配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11で表されるアミノ酸配列を含み、かつ、がん細胞またはがん組織において発現が増強するポリペプチド、あるいは、

(2) 配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11で表されるアミノ酸配列において、10%以下のアミノ酸が置換、欠失、および／または挿入されたアミノ酸配列を含み、かつ、がん細胞またはがん組織において発現が増強するポリペプチド。

【請求項15】

配列番号：5、配列番号：7、配列番号：9、または配列番号：11で表されるアミノ酸配列からなるポリペプチド。

【請求項 1 6】

請求項1 4または1 5に記載のポリペプチドをコードする核酸。

【請求項 1 7】

請求項1 6に記載の核酸を含む発現ベクター。

【請求項 1 8】

請求項1 7に記載の発現ベクターで形質転換された細胞。

【請求項 1 9】

請求項1 4または1 5に記載のポリペプチドに結合する抗体。

【請求項 2 0】

配列番号4、配列番号6、配列番号8、または配列番号10で表される塩基配列を含む核酸とストリンジエントな条件下ハイブリダイズし、少なくとも15塩基を有する核酸。

【請求項 2 1】

生体から分離した被検試料中の、請求項1 4または1 5に記載のポリペプチドの量を測定することを含む、がんの検出方法。

【請求項 2 2】

請求項1 9に記載の抗体を測定に用いる、請求項2 1に記載の検出方法。

【請求項 2 3】

請求項1 4または1 5に記載のポリペプチドもしくはその断片、または、請求項1 6に記載の核酸もしくはその断片を含む、特異的な細胞傷害性T細胞を誘導するためのがんワクチン。